

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月の予約状況は非常に良く来客数も増加した。また、客単価も落ちずに推移している。客の様子をみても、活気がある。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの商店街でのイベントに、かなりの集客力があり、昨年と比較すると、来客数が2、3割増加した。そのため、観光客や普段あまり見かけない家族連れ、若い年齢層の人が多く来店し、売上も飲食店を中心に増加した。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・既存店の来客数を3か月前の前年比でみると、105.0%が106.2%と1.2ポイント良くなっている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・デジタル家電の伸びが引き続き好調である。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・週末は来客数が前年より13%ほど増えており、販売量を前年比119%伸ばすことができた。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・愛知万博などの引き合いが多く、一時低調だった団体旅行も、増加してきている。個人、団体ともに国内旅行の取扱は多く、売上は順調である。
		変わらない	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き
	百貨店（総務担当）		お客様の様子	・単価の低いバーゲン品でも衝動買いが少なく、購入決定までかなりの時間がかかる。また、欲しい商品があっても「割引優待会」まで待って買う客が増えており、ミセスの売場では、「見てるだけよ」と言う客が多い。
	百貨店（営業担当）		それ以外	・物産展は好調に推移したが、ファッション関連は悪く、試着はするが購入に結びつかない。トータルでは来客数、売上高共に前年を下回った。
	百貨店（売場担当）		販売量の動き	・顧客の財布のヒモは依然として堅く、購買は非常にシビアな傾向が続いている。
	スーパー（店長）		競争相手の様子	・近くの競合店が閉店したが、当店の来客数は増えていない。また、単価も上がらない。
	スーパー（店長）		単価の動き	・昨年に比べて天候が良く、ゴールデンウィークや母の日セールも好調で、消費は昨年と比較し上昇するとはいかないまでも堅調に推移している。
	コンビニ（エリア担当）		販売量の動き	・来客数は、前年と変わらないが、客単価の動きが鈍い。今まで3点、4点買っていたところが、2点しか買わずに、お金をあまり使わないという傾向がみられる。
	衣料品専門店（経営者）		単価の動き	・来客数は前年同期と比較し増加しているが、売上の増加につながらない。買上点数が低下しており、客単価は前年同期で2割近く（約8千円）下がっている。その結果3か月前と同様に、売上高は前年比3～5%低下となっている。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き		・メンズが快調で、レディースの不振が続いており、全体では昨年と変わらない。	
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き		・販売量について、新型車の発売がなく例年ほどの活気が見られず、ここ3か月は例年並に推移している。また、景気上向きのニュースが報じられる割には、原油価格の影響などにより市場に活気は感じられない。	
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・販売台数は依然として低迷状態が続いており、好転の見通しはみえない。		
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・愛知万博などの影響により、来客数が減っている。		
やや悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年連休明けに販促をおこなっているが、今年は反応が悪い。	
	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・来客数は多少良くなってきているが、エアコンの動きが昨年より悪く、客単価が5～10%程度低くなっている。	
	タクシー運転手 その他住宅〔不動産〕（経営者）	お客様の様子 お客様の様子	・乗車回数の減少と単価の低下が継続している。 ・新築の賃貸住宅が急に増加したため、賃貸部門は空き家が増加し低調である。	

	悪く なっている	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・商店街を歩いている人は少なく、来客数が少ない。
		タクシー運転手	単価の動き	・客単価は2月より20%程度低下している。また市内の自転車通勤が多くなっており、乗車機会が減少している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	輸送業(役員)	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きは、全体的に少し良くなっている。
	変わらない	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・災害復興工事や製造設備増強によるクレーンの稼働率は高く、引き合いが活発な状況が続いている。
		一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・関西地区では、排ガス規制の買換え需要は強いが、その他の地区では動きが鈍い。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・トイレットペーパーの価格の落ち込みがひどいため、売上が良くない。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・地価の下落により、大型分譲マンションの建設見積件数が増えてきているが、入札価格が厳しく契約には結びついていない。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・各取引先は経費削減の努力で利益率はかなり改善しているものの、売上高が底の状態が続いている。
		広告代理店(経営者)	受注量や販売量の動き	・広告出稿は業種を問わず低調である。特に住宅・不動産関連は広告を出しても反応は鈍く、その結果、受注量が縮小している。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の各クライアントの月次の決算状況を見ると、前年比でマイナスが続いており、景気が上向いていると判断する材料はない。また、零細企業になればなるほど、その傾向が強いというのが現状である。
	やや悪く なっている	繊維工業(経営者)	取引先の様子	・海外からの大量生産型の商品が増加していることで売場や商品の魅力がなくなってきている。また、百貨店のギフト売場の売上が落ち込んでいる。
電気機械器具製造業(経営者)		受注量や販売量の動き	・都心からの設備の受注はある程度あるが、地方では、まだ設備投資を抑える傾向が続いており、受注が少ない。	
輸送業(支店長)		競争相手の様子	・大型連休明けから日用雑貨などの取扱貨物量が大幅に落ち込み、前年割れとなっている。	
	悪く なっている	-	-	-
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	職業安定所(職員)	採用者数の動き	・新規求人数は若干減少しているが、企業の採用数が増加しており、就職件数は増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社(支店長)	求人数の動き	・経理事務、財務処理関係の求人は増えているが、経験者が少ないため苦戦している。また、CADオペレーションの求人も増加傾向にあるが、全体をみるとあまり変わらない。
		新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・新しい建物や店舗、事業展開が全くない状態が続いており、各企業ともに広告出稿は増えない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で2か月連続の減少となった。一般求人では、建設業の土木作業員、重機オペレーター、運送業ではタクシー運転手、小売業で薬剤師、販売員などの求人が増加し、パート求人では、運送業で構内作業員などの大口求人があったものの、製造業、情報通信業、飲食店、宿泊業、サービス業で欠員補充が少ないため、全体では求人数が減少した。
		民間職業紹介機関(所長)	雇用形態の様子	・前年度の求人票と比べると、給与額がほとんど変わっていない。
	やや悪く なっている	求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・中小企業において即戦力の採用が低迷している。
	悪く なっている	-	-	-